

JAAF SAGA

2019年度 夏季ジュニア記録会要項

1. 主催 一般財団法人 佐賀陸上競技協会
2. 日時 2019年 7月6日(土) 競技開始 9:00(予定)
3. 場所 佐賀県総合運動場 陸上競技場 佐賀市日の出1丁目 (TEL 0952-30-5311)
4. 種目
- 高校男子 100m、110mJH、300mH、4×100mR、走幅跳、砲丸投(6.0kg)、円盤投(1.75kg)、やり投
 - 高校女子 100m、100mYH、300mH、4×100mR、走幅跳、砲丸投(4.0kg)、やり投
 - 中学男子 100m、200m、110mYH、4×100mR、走幅跳、砲丸投(5.0kg)
 - 中学女子 100m、200m、100mJH、4×100mR、走幅跳、砲丸投(2.72kg)
 - ◇小学男子女子 100m ※5年生、6年生に限る。
 - ☆中学・高校共通(男子) 300m、600m、4×400mR、走高跳、三段跳、棒高跳、ハンマー投(6.0kg)
 - ☆中学・高校共通(女子) 300m、600m、4×400mR、走高跳、三段跳、棒高跳、円盤投(1.0kg)、ハンマー投(4.0kg) ※600mはオープンスタート

※ハードル種目の配置について下記の通りとする。

- ・高校男子 110mJH : 高さ99.0cm、インターバル9.14m
 - ・高校女子 100mYH : 高さ76.2cm、インターバル8.5m
 - ・中学男子 110mYH : 高さ91.4cm、インターバル9.14m
 - ・中学女子 100mJH : 高さ76.2cm、インターバル8.0m
 - ・男子 300mH : 台数 8台、高さ91.4cm、スタートラインから第1ハードルまでの距離 45m、インターバル 35m、最終ハードルからのフィニッシュラインまでの距離 10m
 - ・女子 300mH : 台数 8台、高さ76.2cm、スタートラインから第1ハードルまでの距離 45m、インターバル 35m、最終ハードルからのフィニッシュラインまでの距離 10m
5. 参加料 ・1種目 **700円(ただし小学生500円)** ・リレー：**1300円**
6. 参加申込み 参加申込書を下記ホームページよりダウンロードし、入力マニュアルにしたがって入力する。

佐賀陸上競技協会ホームページ URL ⇒ <http://www.sagarikujyo.jp/>

① 申込ファイル(CSVファイル)をメールする。

【申込先】 E-mailアドレス : keitoku_araki@yahoo.co.jp

※ PDFファイルでの申込みはできません。

② 作成した申込一覧表をプリントアウトし、捺印したものを下記住所まで郵送する。

【住所】 〒848-0027 伊万里市立花町86番地 敬徳高等学校 荒木 宏文 宛

(封筒に「記録会申込書在中」と記載し、赤枠で囲むこと。)

※ ①・②の両方の申込を必ず行うこと。完了しないと申込を受け付けません。

7. 申込締切 2019年6月1日(土曜日) 必着のこと

8. ナンバーカード 2019年度登録番号を使用すること。必ず、高体連、中体連へ登録を済ませて申込をすること。

小学生は当日ナンバーカードを配布するので空欄で申し込んで下さい。

9. 問い合わせ先 敬徳高等学校内 荒木 宏文 宛 (携帯:090-8838-8480)

10. その他
- ①申し込みは、正確に入力し、**メールと郵送の両方**で申し込んでください。
 - ②申込書は、必ず2019年度夏季ジュニア記録会用のファイルをダウンロードして下さい。
※以前使用した春季ジュニア記録会等の申し込みファイルは使用しないで下さい
 - ③記録会の出場に際しては事前に健康診断を受けておいてください。記録会で生じた事故について応急処置は行いますが、それ以後は各人の責任で行ってください。
 - ④記録会がスムーズに運営できるよう出場校は審判員1名以上、補助員2名を必ず出してください。
 - ⑤申し込みの際に生じた個人情報については、この記録会以外には使用しません。
 - ⑥タイムテーブル・役員一覧・諸連絡を佐賀陸協HPに掲載します。必ず確認してください。
 - ⑦参加料については、当日受付時での納入です。釣り銭がないように準備してください。

11. 競技会運営に関する確認事項

ジュニア記録会の競技会運営方法について、従来型(選手権方式)の方法から、記録会方式へ変更し、時間の短縮と業務のスリム化を図りたいと考えます。

各学校におかれましては、下記の点について、関係職員並びに出場生徒への周知徹底をお願いいたします。

【参加校引率の先生方へお願い】

本競技会については参加校の引率の先生方を中心に役員(審判)割りをしております。各校の先生方におかれましては、役員一覧をご確認していただき、ご協力のほどお願いいたします。なお、以下の点についてご一読をお願いします。

① 出発方法について

トラック種目において、スタート前に行うスタート練習や流しを行わないものとする。

【短距離系種目の出発方法】

- ・スターティングブロックの設置後、すぐにスタート体勢に入り、速やかにレースを出発させる。

【リレーの出発方法】

- ・第1走者は短距離系種目の方法と同様とします。
- ・第2~4走者は、スタートマークを付けたら、直ちにスタート位置につくこと。
- ・4×100mRのマーク設定後のダッシュ等の練習は行わない。
- ・出場校はレーンを確実に確認してレースに臨むこと。

※スターティングブロックを使用しての練習は、ウォーミングアップで十分に行い、レースに臨むよう、各学校においてご指導をお願いします。

【中・長距離種目の出発方法】

- ・前レースが終了したら直ちに、スタートする。

※トラックレース中であっても、レースに支障がない限り、空きスペース（トラックのアウトレーン等）での練習を許可する。

② ラウンドについて

記録会につき、決勝ラウンドは実施しない。

③ 試技数

跳躍競技、投擲競技については、試技を3回とし、ベスト8での試技は行わない。

④ スターターの目安 【1レース時間の目安を以下の通りとする。】

100m	1'30"以内
200m	2'00"以内
300m	2'00"以内
400m	3'00 以内
600m	3'30 以内
800m	4'00 以内
1500m	7'00 以内
3000m	15'00"以内
5000m	20'00"以内
ハードル設営・撤去	5'00 以内

⑤ 招集方法

【トラック種目】

- ・招集所で腰ナンバーカードを受け取り、現地において最終コールを行う。

【跳躍、投擲種目】

- ・フィールド競技：招集所で招集を受け、現地で確認を受けること。

※2種目同時に競技が行われる競技者については、はじめの競技招集時に必ず招集所に申し出をして、次の競技の招集も受けるように徹底させること。

⑥ ハードルの設置等の競技の準備

レース中であっても、競技に支障がない限り、ハードル等の設置を行い、時間的短縮を図る。

- ・300mH の設営については前レース中にハードルを準備できる態勢をとっておく。

⑦ 結果の表示

競技結果についてのアナウンスは行わない。

すべて掲示により結果発表を行うこととする。

各競技のレース及び試技結果をソートし、順位付けしたものを掲示発表する。

⑧ 跳躍競技について

走高跳は男子1m30cm、女子1m15cm から競技を開始する。

三段跳の踏切板は、高校男子11m、高校女子・中学男子9m、中学女子8mとする。

⑨ フィールド競技の試技時間について

残っている競技者数	走高跳	棒高跳	その他
4人以上 ※	1分	1分	1分
2～3人	1分30秒	2分	1分
1人	3分	5分	—
連続試技※※	2分	3分	2分

※ 4人以上または各競技者の最初の試技

※※ 走高跳・棒高跳では、残っている競技者が二人以上で、同一の高さの時のみ適用する。

⑩ その他

記録会方式による業務のスリム化によって、競技役員の負担を軽減したいと考えております。新たな運営方法で、競技進行に戸惑うこともあるかと思いますが、趣旨ご理解の上、出場校並びに競技役員、出場選手の御協力をお願いします。